



森ボラ 通信

第92号 2010年1月20日発行

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 ・ Fax:241-8308

E-mail : hshinrinv2002@nifty.com

■ トピックス



新春のご挨拶

理事長 横山 清

新年明けましておめでとうございます。

私たちは昨年、シジシーグループ主宰の「みどりところの基金」1万本植林運動をスタートさせました。当協会では、これらに加え「コンサドーレ百年の森」、「道新ぶんぶんの森」などの植林・育林等を受注し活発な活動を展開してまいりました。

地球温暖化防止を目指すコペンハーゲン宣言は十分な結果が出ませんでした。着実に環境向上の世相は世界的に高まっております。このような中で私たちボランティアの活動は地球や人類の未来に向い、ささやかであっても着実に前進しているものと思います。

昨年は会員一同事故も無く健康な一年でしたが、新しい年も変わらぬ活力ある年でありたいと願い新春の挨拶と致します。

2010年1月1日

新春のご挨拶

代表幹事 酒井和彦

新年明けましておめでとうございます。

1月14日澄川環境林には12名が集まり今年の活動が始まりました。抜けるような青い空のもとスノーシューをつけてソリを引ながら新雪を踏んで精進川を渡り段丘の上の広葉樹2次林の除伐が始まりました。正月休みでゆるんだ体を引き締めるにはもってこいの一日でした。

さて今年度の協会の活動の中心はこの澄川環境林の苗畑から炭焼きまでの色んな森林保全活動と北海道シジシーの森を主体とした支笏湖周辺の台風被害地の復旧活動が主となると思われます。

また協会は2001年の1月頃は湊先生のセミナーが始まりましたので今年丸9年目に入ります。来年の今頃は10周年記念行事が始まることと思いますので面白い企画がありましたら幹事にお知らせ願います。

ボランティア活動は自主活動ですから、団体の目標は森林の育成保全ですが個人の目標は体力保全と森の中での癒しで全く問題ありません。そんなわけですからたまにしか参加できない方も全く問題ないので気軽に参加いただきたい。今年から現場には行けないが森林の保全に何らかの寄与をしたい方のために個人賛助会員の募集が始まりましたので宣伝願います。

ことしも安全で楽しい一年にしく特段のご協力をお願い致します。

2010年1月1日



◆ 種子の戦略

子供の頃に、何百年も土の中に眠っていたハスの実を発芽させた「大賀ハス」の話聞いたときの驚きは今でも鮮明に憶えています。

又ちょうど20年前になります。転居してきて隣の人から「ツタンカーメンのえんどう豆」なるものの種を分けてもらって、味がまずく止めてしまったが、数年栽培していました。中米ホンデラス共和国に住んでいたとき、そこは熱帯高原でオオカルパ松優勢の疎林であったが山火事で松ボックリが焦げたため一斉に芽が出た現場を見たことがあります。それはちょうど山焼きをするとワラビがゾクゾク生えるのに似た驚きの現象でした。

そしてもっとも身近にその申し子らしきものを見ることになったのです。以下は証明書のない私的な感想文としてお読みいただきたい。

森ボラ9月号に「支笏湖台風被害地の残存木の調査」として書いた記事もそうだし、同じCGCの森の2haの自力刈出し地拵え地に生えてきている稚樹こそ埋土種子の申し子ではないでしょうか。これぞ彼らの戦略で勝ち取った子孫繁栄の結果ではないでしょうか。何年も土の中で待ちつづけ遂に周りの木が倒れて明るくなり発芽のチャンスが来たのです。その遷移の瞬間に我々は立ち会ったのではないのでしょうか。

台風で倒れた人工林18haの中に直径6cm以上の残存木が377本もありました。これらは台風以前にトドマツの人工林の中に生えて来たもので377本の上位はハルニレ107本、ミズナラ64本、カンバ類は56本であった。

台風や山火事の後にはシラカンバやハンノキが生えてくるのが教科書であろうが、ここではハルニレが断然トップでした。



写真:発生した稚樹の刈だし

不思議その1：ドングリはどうやってここまで来たか？

第2位がなんと種が重く、翼やプロペラをもたないミズナラだったのです。不思議なのは大きな種のミズナラが64本、ホオノキが29本、キハダが11本もあることで、リスや鳥が運んできて食べ忘れた量とは到底思えません。台風か春先に強烈な風が種を掘り起こし硬雪渡りで「ドングリころころ」（丸いのもドングリの戦略ではないか）でここに来たのではないだろうか。ブナの実には三角のために転がらず尾根筋にしがみついて純林を作りやすいとすれば丸いことは障地を拡大する戦略では有効な武器になると思われる。

不思議その2：何年間眠っていたのだろうか？

そして雌伏数年とところどころトドマツが倒れギャップができたり台風で攪乱がおきて暖かい春の光が差し込みタイミングよく水を得て発芽したのではないだろうか。種が大きいので栄養は蓄えてあるしあまり光がなくとも育ってゆける親の性質を引き継いで埋土種子の待ちの戦略がここに実現したと思われるのです。虫やネズミに食われた仲間は数限りないなかで生き残ったのです。

不思議その3：なぜ斜面にまず発生するのか？

この北海道 CGC の森は、通称オッパイ山の南斜面だけ 30cm ほどの稚樹がたくさん生えている。台風から5年だが平地にはまだあまり発生していない。聞けば攪乱地は日当たりの良さに関係なく斜面にまず稚樹が発生するそうです。

これも空想ですが、台風が来て斜面で木が根返りで倒れ土が掘り起こされる、傾斜のため雨で根株の土も種も一緒に流される、光があたる、待ちの戦略の埋土種子も風で散布の軽い種子も一斉に発芽する。

ここの地表の植生は野いちご優勢で、刈だし作業時にはささって痛いけど、光を適度に遮る寒冷紗となり光を好むパイオニア樹種を抑えて埋土種子作戦のクライマックス樹種を優勢な戦いに導いていると考えることはできないだろうか。

この植栽地には壮大な歴史ロマンを感じます。人工林だった50年ほどの期間なんて小さな事件に過ぎず、まもなく(200年もすれば)その前の太古の森に溶け込んでゆきます。(記、酒井)

■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・酒井・佐野・杉本・高野・津金・西野・山中・棟方・矢澤・和田

確認事項

- ① オイスカ北海道支部の青山地区植林の支援について
道有林植林活動地での植林枯損率を低く抑えるため、森ボラ協会の支援打診を受けて2010年度での対応を検討。どんな支援が出来るか、今後オイスカ北海道支部と支援策について検討してゆく(窓口：高野幹事)。
- ② 2010年度支笏湖台風被害復興支援活動の概要 (※詳細は2010年度計画でお知らせしていきます。)
 - 「北海道CGCみどりところの基金」の森(2年目)
2回/年(春期・秋期)の植栽を計画。
春期植樹祭： 5月11日(火)～5月12日(水)
植栽数： 2,600本(トドマツ)
※根踏み作業は5月6日(木)に計画。
 - 「道新ぶんぶんの森」(2年目)
2回/年(春期・秋期)の植栽を計画。
春期植樹祭： 5月15日(土)。予備日(5月16日(日))
植栽数： 750本(トドマツ)
※根踏み作業は5月6日(木)に計画。
2010年春期の植栽に係るマーキング作業は、5月11日(火)～5月12日(水)に計画します。
 - 「コンサ百年の森」(3年目)
2回/年(春期・秋期)の植栽を計画(2010年度春期植樹祭、植栽数について未定)。
- ③ 冬期間、澄川の森では活動地拡張部分での除伐を進め、遊歩道整備、木道製作のための準備を行います。新年から新雪上の小動物足跡観察など作業を開始しました。



■ 活動履歴

活動日	行 事	参加人数	活動内容
1月18日(月)	セミナー	22名	基調講演(菌根菌について)、他
1月14日(木)	澄川	12名	除雪・除伐(遊歩道整備基地づくり)
1月12日(火)	幹事会	12名	定例
12月22日(火)	セミナー	23名	例会・12月セミナー

■ おしらせ

◆ (株)ニトリ協賛チケットの販売取りまとめ

北海道の道東が主要な舞台となった中国映画「狙った恋の落とし方」の国内ライセンスを取得した(株)ニトリパブリックでは、北海道応援基金協賛団体にチケットを販売する事になり、これに協賛して森ボラでも特別協賛チケットとりまとめを致します。格安となっています、此の機会に映画鑑賞で楽しみませんか。

ご希望者は事務局までご連絡をお願いします(作業参加申込書欄でのチェックも可)。



2009年度北海道応援基金の支援を受けています。

● チケット価格

特別協賛券 900円(当日券1,500円)

申込み期限 1月29日

● 公開日

2010年2月20日(道内10館)

近隣上映館

札幌シネマフロンティア、札幌劇場、山蘭劇場、ディノスシネマズ旭川・苫小牧、ワーナーマイカルシネマズ小樽、他



◆ 西嶋選手のサイン入りシューズを山本機械株式会社ショーウインドに展示

西区西野に有る山本機械(株)の好意により、コンサドーレ札幌の西嶋選手のサイン入りシューズを展示できる事になりました。小・中学校生に人気が高まるといいですが。

